

## ・第2号議案

### 平成15年度執行方針(案)

#### 基本方針

今シーズンの加盟団体、所属団体、会員の皆様方の絶大ご協力とご支援に執行部一同、心より感謝を申し上げます。

終わりましたシーズンも含め、来シーズンも非常に厳しい社会状況が続くと思われま

す。来期の予算について、各本部より提出された支出予算は収入予算に比べてかなり大きな金額になっており、平均10～15%の減額をせざるを得ない状況でありました。これはシーズン中のサービス低下に繋がるものであり、これ以上の会員の減少、行事参加者の減少に歯止めがかからなければ、16年シーズンには組織の再編、縮小が避けられないようになると思われま

す。多くの先輩方のご苦勞と努力によって創り上げられたスキー連盟をなんとか後退させないよう、執行部一同、最大限の努力をして参りますので、会員の皆様の一層のご理解とご協力をお願い致します。

総務本部におきましては事務の効率化を計り、よりサービスの向上を目指します。

教育本部においては用具の進歩により、一方的な技術の伝達を行う指導法は意味を為さなくなり、双方向による意見交換を行いながら指導をしていかなければならない状況になって参りました。

これはSAJからの受け売りの指導ではなく、神奈川県という地域の特性を持った指導と執行が重要になってくると思われま

す。また、他県連との共催事業、人的交流にも力を注いで行きたいと考えます。

競技本部は現状、なんとか登録会員の減少が無く推移していますが、この厳しい社会状況の中ではいつ会員の減少が起きるか解りません。

昨シーズン同様、大会のオープン化等の努力をして会員の増加に繋げたいと考えています。また、専門委員がなかなか休みを取れず苦勞している面がありますので、運営費用の軽減も諮りながら大会運営の現地委託を試みたいと考えています。

来シーズンは執行部一同にとって儉約と忍耐のシーズンになると思います。会員の皆様の一層のご理解とお力添えをお願いして、執行方針とさせていただきます。